

2025(令和7年) 年 4月 22日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人八王子ダルク

代表者・役職名 氏名 代表理事 加藤 隆

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

薬物依存症者と地域住民との「つながり」を創造するボランティア活動

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人の代表や職員の多くは多摩地区で薬物使用経験があり、当時、多摩地区にダルクがなかったために苦しんだ経験から、東京ダルクの協力のもと、2011年に東京ダルク八王子(任意団体)を開設し、2015年に特定非営利活動法人八王子ダルクとして独立をした。多摩地区において、いまだ苦しんでいる薬物依存症者の回復を支援し、適切なプログラムによって回復できることを広める活動をしている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

薬物依存症者の回復を支援するには、孤立・孤独な状態から「仲間とのつながり」、「社会とのつながり」を構築することが求められる。八王子ダルクでは、「仲間とのつながり」を構築するためのプログラムの一つとして八王子市郊外・恩方地区の農場で「農業プログラム」をおこなっている。一方、「社会とのつながり」の構築は、昨今の不寛容な社会での偏見の深まりはその実現を困難にしている。恩方地区でおこなうボランティア活動をおこなうことで、地域の人たちとの関係(「社会とのつながり」)を構築することをめざす。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- 1) ニーズ調査とコーディネート: 町内会や地域の活動団体の主要メンバーにコーディネーターを依頼し、地域にどのようなニーズがあるかを調査するとともに、ボランティア活動の内容を地域に周知してもらう。
- 2) ボランティア活動(「お困りごとのお手伝い」): 要請のあるごとに「お手伝い」を実施。想定される作業は、側溝の掃除、空き地・駐車場・耕作放棄地などの除草や草刈り、落ち葉掃き、庭先の梅や柿などの収穫、除雪など。活動は定期的におこなうより、要請があり次第、臨機応変に対応する。
- 3) ミーティング(振り返り): 活動のつど、振り返りをおこなって反省点などをピックアップし、次の活動へフィードバックしていく。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

町内会役員を通じて地域ニーズの掘り起こしをおこない、次の活動ができた。①地区内の神社や児童遊園の清掃(落ち葉掃き、除草など)、毎週金曜日の午後30分間程度、②町内会主催の夏祭りのサポート(8月10日)、③地域団体主催のコンサートで駐車場の整理・誘導(6月9日)、④市民センター祭りサポート(9月14日)、⑤学校主催のクリスマスコンサートで駐車場への誘導・整理(12月22日)。結果、①偏見の目で見られがちなダルク利用者が、地域の人たちから「普通の人」として認知されるにいたったこと、②「ありがとう」という声をかけてもらうことで、ダルク利用者の自己肯定感が高まったこと、③町内会の協力団体と位置づけられたこと。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

地域でのボランティア活動を開始した1年目ということもあり、必ずしも地域のニーズを十分に把握しきれなかったことが課題としてあげられる。一方で、地道に活動を継続できたことで、町内会や地域の皆さんからの八王子ダルクへの信頼感が醸成されており、今後、新たに活動要請のある可能性が高い。実際、地区内の放置されている空地の清掃・除草、整備(花壇の設置など)について新たな活動として調整中である。
今回のプロジェクトでは、地域住民の方々とボランティア参加メンバーとの交流会を計画していたが年度内に実施することができなかった。次年度以降、交流の機会をつくる工夫をする予定である。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

